

令和7年度クリーニング師試験問題 (学科試験)

日 時 令和7年11月13日(木)
午前10時から午前11時10分まで

科 目 I 衛生法規に関する知識
II 公衆衛生に関する知識
III 洗たく物の処理に関する知識

【注意事項】

試験問題は、指示があるまで開いてはいけません。

- 1 問題の解答は、必ず解答用紙に記入してください。
- 2 解答用紙は1枚です。解答欄を間違えないように注意してください。
- 3 解答用紙には、受験番号及び氏名を忘れずに記入してください。
- 4 試験開始後40分間と試験終了前10分間は原則退室を認めません。
- 5 スマートフォン等の通信機器を時計代わりに使用することは禁止します。電源を切ってカバン等にしまってください。
- 6 その他、係員の指示に従ってください。

山 形 県

I 衛生法規に関する知識

第1問 次のクリーニング業法に関する記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 クリーニング業法第1条において、「この法律は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の福祉に適合させるとともに、利用者の健康の維持を図ることを目的とする」としている。
- 2 この法律でクリーニング業とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗たくすることを営業とすることをいう。
- 3 この法律でクリーニング師とは、厚生労働大臣がクリーニング師試験に合格した者に与える免許を受けた者をいう。
- 4 この法律でクリーニング所とは、洗たく物の処理又は受取及び引渡しのための営業者の施設をいう。
- 5 この法律で営業者とはクリーニング業を営む者をいい、洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡しをすることを営業とする者を含む。

第2問 次のクリーニング業法における営業者の衛生措置等に関する記述について、文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

- 1 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び（ a ）をそれぞれ少なくとも（ b ）台備えなければならない。
- 2 洗場については、床が不透水性材料で築造され、これに適当な（ c ）と排水口が設けられていること。

- 3 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で定める洗たく物には、(d) がある。

語群	① 1	② 2	③ 旅館で使用したタオル	④ 乾燥機
	⑤ 滑り止め	⑥ 勾配	⑦ 脱水機	
	⑧ 飲食店で使用した作業着			

第3問 次のクリーニング業における営業者の届出についての記述のうち、正しいものを解答欄に書き入れなさい。

- ア クリーニング所を開設しようとする者は、営業開始後速やかに都道府県知事に必要事項を届け出なければならない。
- イ 届け出た事項に変更を生じたとき、又は営業を廃止したときは、営業者は、速やかに都道府県知事に届け出なければならない。
- ウ クリーニング所を開設しないで洗たく物の受取及び引渡しのみを営業しようとする者は、届出をする必要はない。

第4問 次のクリーニング業法におけるクリーニング師に関する記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 クリーニング師が、衛生的に問題ないと判断した場合に限り、クリーニング所以外の場所で洗たく物の処理を行うことができる。
- 2 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受けなければならないが、業務が繁忙なため営業者が認めないときは、受講しなくてもよい。
- 3 クリーニング師は、クリーニング業に関する犯罪により罰金以上の刑に処せられたときは、免許を取り消されることがある。
- 4 クリーニング師試験に合格した者は、その合格証を受理したことにより、クリーニング師の業務を行うことができる。
- 5 クリーニング師は、免許証を紛失したときは、1か月以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。

第5問 次のクリーニング業法における罰則等に関する記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 クリーニング所を開設しようとする者が届出をせずクリーニング所を開設した者は罰金に処する。
- 2 都道府県知事は、必要があると認めるときは、当該職員に、クリーニング所に立ち入り、営業者の衛生措置等の実施状況を検査させることができるが、営業者は当該職員の検査を拒むことができる。
- 3 法人が営業するクリーニング所の従業員が業務に関して違反行為をしたときは、法人のみが処分される。
- 4 都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗たく物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不適当と認めるときは、期間を定めてその業務を停止することができる。

第6問 次のア～ウのうち、クリーニング業法施行規則でクリーニング所において消毒を要するとされた洗たく物として、間違っているものを1つ選び、解答欄に書き入れなさい。

- ア 介護福祉施設で入所者が使用したパンツ
- イ 病院で療養のために使用された寝具
- ウ 旅館で従業員が使用した作業着

Ⅱ 公衆衛生に関する知識

第1問 次のウインスロー（アメリカ合衆国の公衆衛生学者）による公衆衛生の定義の記述について、文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

公衆衛生とは、共同社会の（ a ）な努力を通じて、疾病を（ b ）し、（ c ）を延長し、肉体的、（ d ）健康の能率の増進をはかる（ e ）であり、技術である。

語	① 予防	② 精神的	③ 手段	④ 個人的	⑤ 発症
群	⑥ 寿命	⑦ 物理的	⑧ 科学	⑨ 治療	⑩ 組織的

第2問 クリーニング所における衛生に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選び、解答欄に書き入れなさい。

ア 洗たく機、脱水機等の機械、作業台、運搬・集配容器等の洗たく物が接触する部分（仕上げの終わった洗たく物の格納設備又は容器を除く。）は、毎日業務終了後に洗浄又は清掃し、仕上げの終わった洗たく物の格納設備又は容器は、少なくとも1か月に1回以上清掃を行い、常に清潔に保つ。

イ クリーニング所には、未洗たくのものと洗たく済みのものとを区分して入れる設備又は容器を備える。洗たく物の格納設備又は容器は、塩素剤、界面活性剤等の水溶液を用いて浸漬、清拭等により消毒する。

ウ 引火性溶剤は、容易に蒸発しやすく、引火しやすい性質を持っているので、安全衛生への留意が必要である。引火性溶剤を選択する際は、できるだけ引火点が高いものを選択し、保管する際は、容器をゴムマット等の不導体の上に設置する。

第3問 「クリーニング所における衛生管理要領」における、クリーニング師がクリーニング所において担う業務に関する次の記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 クリーニング師は、施設、設備等の衛生管理、有機溶剤等の適正な使用管理について、他の従業者に指導的立場から関与する必要があるが、従事環境の安全の確保については、営業者の業務であり、関与する必要はない。
- 2 クリーニング師は、クリーニング事故の発生防止に努めるとともに、万が一事故が生じた際は、対応責任者として原因究明を行う。
- 3 感染症や災害が発生した際には、クリーニング師は、事業継続計画（BCP）に沿って、災害被害の軽減・復旧に取り組まなければならないが、事業継続計画（BCP）の策定については営業者の業務であり、クリーニング師は関与する必要がない。
- 4 クリーニング師は、5年を超えない期間ごと（業務に従事した際は1年以内）にクリーニング師研修を受講し、知識及び技能の向上を図る。

第4問 「クリーニング所における衛生管理要領」における指定洗たく物の一般的な消毒に関する次の記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 四塩化（パークロル）エチレンに5分間以上浸し洗たくした後、四塩化エチレンを取り除いた状態で50℃以上に保たせ、10分間以上乾燥させる。
- 2 蒸気による効果的な消毒は、100℃以上の湿熱に5分間以上触れさせることにより行う。大量の洗たく物を同時に消毒する場合は、すべての洗たく物が湿熱に十分触れるよう注意する。
- 3 洗たく物を80℃以上の湯で10分間以上処理する。
- 4 次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素250ppm以上の液に30℃以上で5分間以上浸し、終末遊離塩素100ppm以上になるような方法で消毒する。

第5問 クリーニング業にかかわる感染症に関する次の記述について、文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

- 1 多くの微生物は（ a ）環境を好むため、洗たく物は（ b ）状態で保管する。
- 2 クリーニング業の施設が関わる感染症として、病院リネンを介した（ c ）による集団感染がある。極端に抵抗力の弱い患者では、極めてまれに菌血症などの起因菌となり得る。
- 3 従事者が、トビヒ（伝染性膿痂疹）や疥癬などの伝染するおそれのある皮膚疾患又は（ d ）に感染したときは、営業者は（ e ）に届け出るとともに、当該従事者を作業に従事させない。
- 4 ノロウイルスを含む吐ぶつが付着したリネン類を次亜塩素酸ナトリウムで消毒する場合は、（ f ）ppm以上になるようにする。

語 群	① 病院	② 温暖	③ カンピロバクター	④ 寒冷
	⑤ セレウス菌	⑥ 湿潤	⑦ 結核	⑧ 乾燥
	⑨ 100	⑩ 保健所	⑪ 1,000	

Ⅲ 洗たく物の処理に関する知識

第1問 ドライクリーニング及び特殊クリーニングに関する次の記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 ドライクリーニングのチャージシステムでは、ソープ濃度は、5%から10%に調整するのが一般的である。
- 2 ドライクリーニングで洗浄後、洗たく物からドライ溶剤を取り除く工程が「脱液」と「乾燥」であるが、脱液が強ければ、乾燥効率は悪くなる。
- 3 毛皮は脱脂されるので、ドライクリーニングは避けて、パウダークリーニングを行う。
- 4 皮革製品はクリーニングされた物でもカビが生えやすいので、よく乾燥した後、乾燥剤を入れて涼しいところに保管する。

第2問 しみ抜きに関する次の問題について、あてはまるものを選び解答欄に書き入れなさい。

- 1 水溶性のしみに関する次のア～ウの記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答欄に書き入れなさい。

ア 水溶性のしみは、水に溶けるが有機溶剤には溶けないため、水と中性洗剤を基本のしみ抜き剤とする。

イ たんぱく系のしみには、温水や蒸気などでの加熱処理を行い、アルカリ性のしみ抜き剤を使用する。

ウ タンニン系のしみには、酸性のしみ抜き剤を使用する。

2 次のア～ウのしみ抜きに用いる酵素に関する記述のうち、正しいものを1つ選び、解答欄に書き入れなさい。

ア しみ抜きに酵素を用いると、繊維や染色を痛めやすいため注意を要する。

イ しみ抜きに用いる酵素には、たんぱく質分解酵素、デンプン分解酵素、脂肪分解酵素などがあり、温度、pH、水分、時間により効果が左右される。

ウ しみ抜きに用いる酵素は、長期間保存しても活性を失いにくい。

3 次のア～ウのしみ抜きの進め方に関する記述のうち、正しいものを1つ選び、解答欄に書き入れなさい。

ア 酵素処理、水溶性処理、油性処理、酸化漂白処理、還元漂白処理の順に進める。

イ 水溶性処理、酵素処理、油性処理、還元漂白処理、酸化漂白処理の順に進める

ウ 油性処理、水溶性処理、酵素処理、酸化漂白処理、還元漂白処理の順に進める。

4 次のア～ウの油性のしみ抜きに関する記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答欄に書き入れなさい。

ア 油性のしみに使用するしみ抜き剤としては、潤滑作用のある石けん、グリセリンなどである。

イ 油性のしみは、一般に生地が透けて見え、かつ手触りが柔らかい特徴がある。

ウ 油性のしみには、化粧品、ペンキ、皮脂などがある。

第3問 ランドリー及びウェットクリーニングに関する次の記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に書き入れなさい。

- 1 ランドリーとは、ワイシャツやシーツなど、水に対して耐久性のある衣料品などを、洗剤、石けん、アルカリ剤、漂白剤を用いてドラム式洗たく機で温水洗いをする洗たく方法をいう。
- 2 ランドリー工程の予洗では、使用薬剤としてアルカリ剤を用い、水量は本洗いより少なめで、温度は50℃以上にする。
- 3 ウェットクリーニングは、「JIS L 0001:2024」では「洗剤及び／又は水洗いによる影響を最小限度に抑えるために、水洗い・すすぎ及び遠心脱水時に添加剤などを使用する場合もある特殊な技術を用いた業者による繊維製品の水洗い処理」と規定された。
- 4 ウェットクリーニングは、純粋な水溶性汚れはほぼ除去可能だが、油性汚れはドライクリーニングの35～50%程度しか除去できない。

第4問 洗剤、溶剤及びランドリー用助剤に関する次の記述について、()にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

- 1 洗剤は、いずれも界面張力を(a) させる働きをもっており、その主成分は界面活性剤である。
- 2 漂白剤である(b) は40℃以上で効果を発揮する。また、緩やかに分解するので、生地を傷めることが少ない。
- 3 合成糊では(c) が最も常用されており、少量で硬さを発揮できるが、脱糊性が悪いものがあるので注意する。
- 4 国内で使用されているドライクリーニング溶剤は、(d) の比率が圧倒的に高く、次がテトラクロロエチレンとなっている。

語 群	① 上昇 ② 低下 ③ 次亜塩素酸ナトリウム
	④ 過炭酸ナトリウム ⑤ ポリ酢酸ビニル ⑥ ポリ塩化ビニル
	⑦ フッ素系溶剤 ⑧ 石油系溶剤

第5問 家庭用品品質表示法における家庭洗たくなどの取扱い絵表示の次の記号の意味について、最も適当な絵表示を下の記号群から選び、その番号を解答欄に書き入れなさい。

ア 液温は、40℃を限度とし、手洗いによる洗たく処理ができる。

イ 底面温度160℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。

ウ 洗たく処理後のタンブル乾燥処理はできない。

エ ぬれつきり干し乾燥が良い。

記 号 群	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(「JIS L 0001:2024 繊維製品の取扱いに関する表示記号」による)